

2月3日のウクライナ情報

安齋育郎

① ウクライナ兵「少女を犯し、跪かせ、撃ち殺した」(2025年1月31日)

ウクライナ軍が一時占領した露クルスク州ルースコエ・ポレチノエ村で、住人 22 人を殺害した疑いで逮捕されたウクライナ兵のエフゲニー・ファブリセンコ容疑者が、調べに対し犯行を自白した。

<https://twitter.com/i/status/1885304649827155982>



<https://sputniknews.jp/20250131/19546818.html>

② 露住民 22 人の殺害容疑でウクライナ兵逮捕 うち 8 人には性暴行(2025年1月31日)

露連邦捜査委員会は、ウクライナ軍が一時占領した露クルスク州ルースコエ・ポレチノエ村で、住人 22 人を殺害した疑いで、5 人のウクライナ兵を対象に捜査を行っていると明らかにした。

このうち、露軍の捕虜となっていたエフゲニー・ファブリセンコ容疑者が逮捕された。公開された取り調べの映像では、容疑者が犯行を自白。犠牲者のうち女性 8 人については、性的暴行の後に殺害したと認めた。

犯行は 9 月 28 日～11 月 24 日の間に行われたとみられている。今年 1 月、ロシア軍は同村を解放。民家の地下室から隠されていた犠牲者の遺体が見つかった。



<https://sputniknews.jp/20250131/228-19545980.html>

③EU はロシア産ガスの返還を望んでいる！（2025年1月31日）

フィナンシャル・タイムズは、ロシア産天然ガスがヨーロッパに戻ってくるという記事を書いて、さまざまな視点を提示した。また、ウクライナでは、国防大臣ルステム・ウメロフが関与する大規模な汚職事件が勃発した。

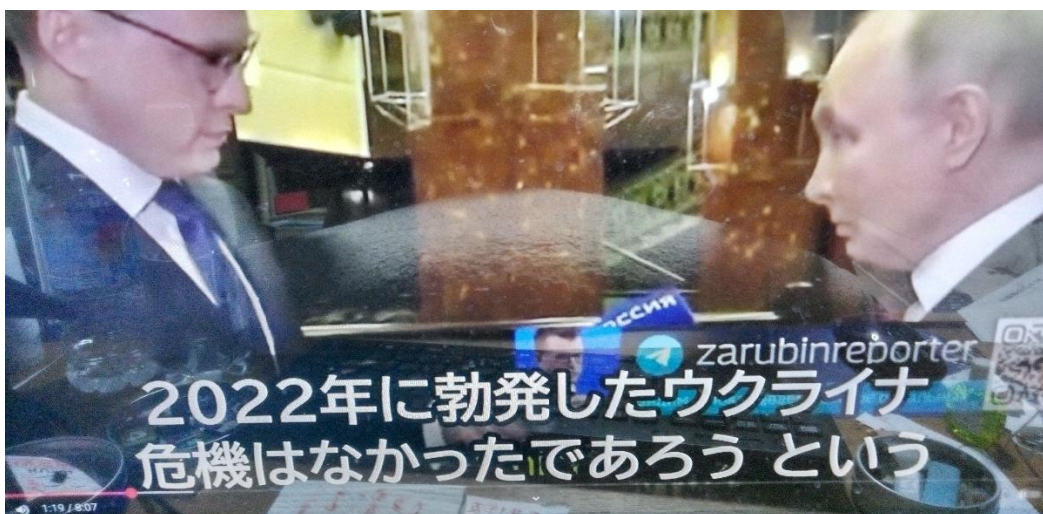
<https://youtu.be/poqXtn8tZrE>



<https://www.youtube.com/watch?v=poqXtn8tZrE>

④プーチン大統領「トランプ大統領の意見には同意せざるを得ない」ウクライナ危機について(2025年1月24日)

<https://youtu.be/JQu7pmwHxTQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=JQu7pmwHxTQ>

⑤ロシア産ガスの輸送を停止したウクライナ、燃料不足で東欧から輸入開始(2025年2月1日)

ウクライナはロシアの天然ガスパイプラインを遮断し、政府の収入を絶つと豪語していたが、国内の燃料が枯渇して危機的状態となったため、引き続きロシアからガスを輸入するハンガリー、スロバキア

に転売を要請した。フォーブス・ウクライナが報じた。

ウクライナが欧州へのロシア産ガス供与を妨害しているため、市場ではエネルギー価格が高騰している。こうした中、資金不足のウクライナは価格高騰するガスを東欧から輸入するか、それともロシアからの輸入を再開し、さらにはガスの輸送費としてロシアから再び数十億ドルもの資金を手にするか。ウクライナは岐路に立たされている。

現時点で輸入量は1億 m^3 (500万ユーロ、日本円で約8億円)と少ないが、この冬を乗り切るには輸入量を10倍以上に増やす必要があるとのこと。

2025年1月までにウクライナのガス貯蔵施設に残存する燃料の量は過去最低の約80億 m^3 となり、これは前年より24%少ない。さらに、そのうち45億 m^3 はいわゆる「緩衝ガス」で、これを汲み出すと貯蔵施設は機能しなくなる。

ウクライナのガス輸入能力は限られており、1日最大7000万 m^3 。そのうち4200万 m^3 がスロバキア領を経由、残りはハンガリーとポーランド経由となっている。

ナフトガス社は2024年8月、ガス貯蔵施設を十分に満たし、さらには自国内の燃料生産を増やしているため、暖房シーズンにガスを輸入する予定はないと述べていた。



<https://sputniknews.jp/20250201/19548137.html>

⑥米国による追加関税、中国はWTOに提訴へ(2025年2月2日)

ドナルド・トランプ米大統領が中国、メキシコ、カナダからの輸入品に関税を課す大統領令に署名したことについて、中国商務省は「強い不満」を表明。世界貿易機関(WTO)に提訴し、適切な対抗措置を取ると発表した。

同省は、米政府による一方的な関税導入はWTOのルールに深刻に違反し、両国間の正常な貿易や経済協力を損なうと強調した。

声明では「中国側は米国に対し、誤った行動を改め、中国に歩み寄り、平等、相互利益、相互尊重の原則に基づいて問題に取り組み、率直な対話を行い、協力を強化し、意見の相違を管理することを求める」と述べられている。

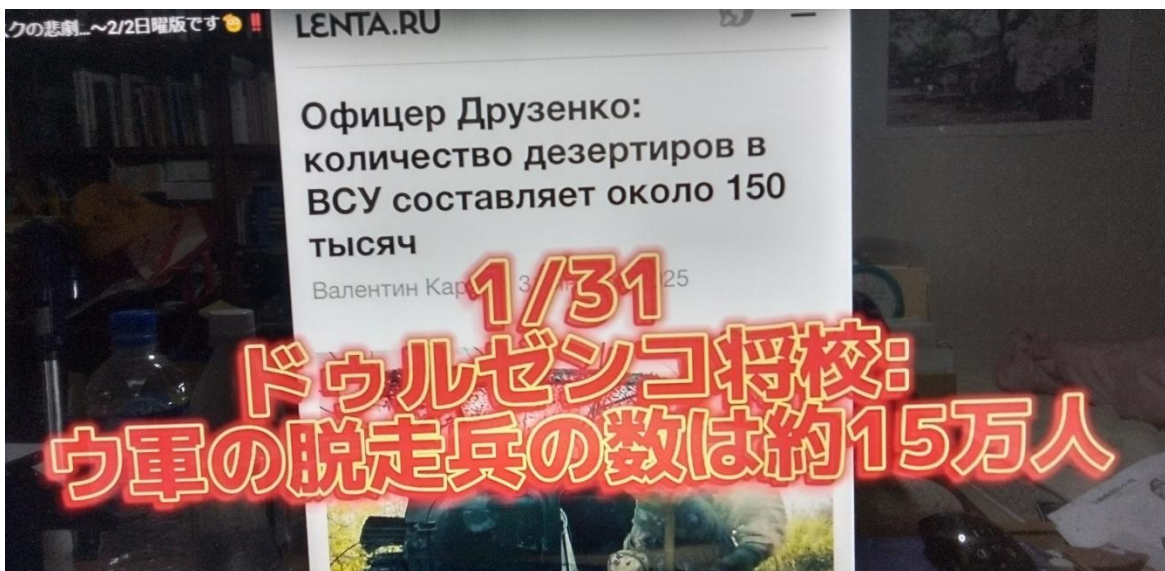
また、中国外務省は「貿易・関税戦争に勝者はいない」とコメントした。



<https://sputniknews.jp/20250202/wto-19549290.html>

⑦【戦況】クルスクの悲劇…～2/2 日曜版です👉!!(ニキータ伝～ロシアの手ほどき、2025年2月2日)

<https://youtu.be/WEnxCqdXPts>



<https://www.youtube.com/watch?v=WEnxCqdXPts>

⑧キエフ市長対ゼレンスキー:権力の衝突 | プーチン大統領がウクライナの指導者を嘲笑 | ロシアのドローン攻撃 | CLRCUT(2025年1月31日)

キエフ市長のヴィタリー・クリチコは、ゼレンスキー大統領の政権が「権力の篡奪」を企み、地方自治に干渉していると非難した。一方、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領はゼレンスキーを「非合法」と呼び、ウクライナで怒りを買った。プーチンは西側諸国の援助を止めれば戦争は終わると主張したが、ゼレンスキーは彼が紛争を長引かせていると非難した。これとは別に、ウクライナはロベルト・フィツォ首相の親ロシア発言を受けてスロバキア特使を召喚した。ロシアはまた、より致死性の高いシャハド無人機を使用して無人機攻撃を激化させている。戦闘が続く中、米国の援助停止はウクライナの軍事力を弱める恐れがあり、北朝鮮軍がロシア軍と共に戦っているとの報道もある。

https://youtu.be/h2Z77_0H7_E

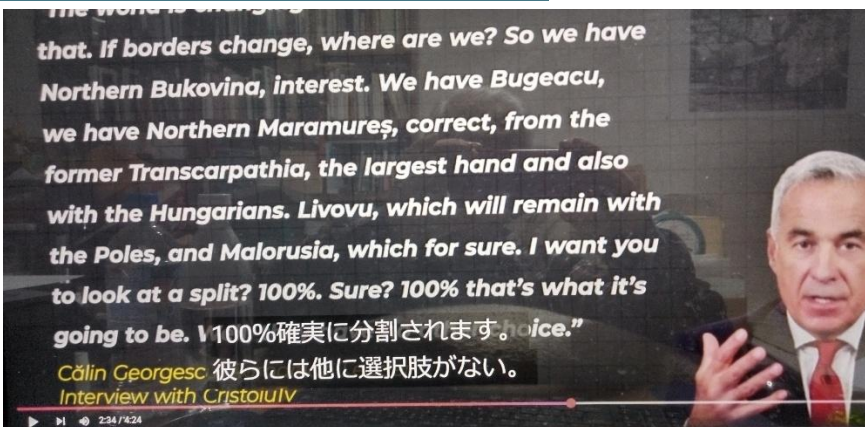


https://www.youtube.com/watch?v=h2Z77_0H7_E

⑨ ウクライナ危機？ルーマニアのジョルジエスク大統領が「架空の国家」と呼び、恐怖が高まる | タイムズ・ナウ・ワールド(2025年1月31日)

ルーマニアの大統領候補であるカリン・ジョルジエスク氏は、ウクライナを「架空の国家」と呼び、ルーマニアを含む近隣諸国に分裂すると予測する発言で物議を醸している。ジョルジエスク氏の親ロシア、反EU、反NATOの姿勢は、進行中のロシア・ウクライナ戦争の緊張を高めており、同氏の発言は、ナショナリズムと極右政治が台頭しているヨーロッパ全体の緊張に火をつけている。同氏の発言はロシアの利益と一致しているように思われ、NATOとEU内で不和を生じさせる可能性があり、ウクライナに対するヨーロッパの集団的支援を弱め、ロシアの侵略に直面したヨーロッパの団結に課題を突きつけている。

<https://youtu.be/IevsgUe90V4>



<https://www.youtube.com/watch?v=IevsgUe90V4>

⑩ロシアがウクライナへの締め付けを強め、ドンバスの戦いが激化、トランプ大統領がプーチン大統領に制裁を警告 | CLRCUT(2025年1月24日)

ロシアとウクライナの戦争に関する最新情報をお届けします。ドンバスとクルスク地方でのロシアの進撃、クラホヴォの占領、トレツクとチャソフヤル付近での激しい戦闘など。ザポリージャは再び壊滅的な攻撃に直面し、数十人が負傷しました。ドナルド・トランプ米国大統領はロシアに強い警告を発し、プーチン大統領が戦争を終わらせなければ関税と制裁を科すと脅しました。こうした外交的圧力は紛争の行方を変えるのでしょうか？ 変化する状況に関するこの包括的なレポートで最新情報を入手してください。

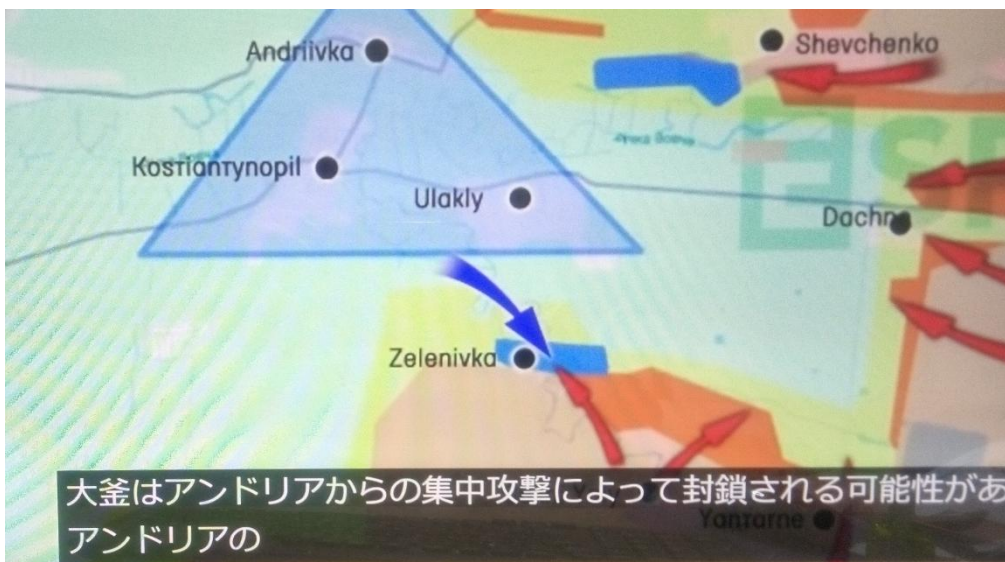
<https://youtu.be/s7btSDpGvd8>



<https://www.youtube.com/watch?v=s7btSDpGvd8>

①あらゆる面で危機:ウクライナの8個旅団の崩壊の内幕(2025年1月30日)

<https://youtu.be/fij-ZffIVvU>



<https://www.youtube.com/watch?v=fij-ZffIVvU>